



さいたま文学館 埼玉県立久喜図書館 共催

県東部地域ゆかりの文学



展示期間:2015年9月19日(土)~10月4日(日)
 展示場所:2階公開図書室・研修室
 埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当
 久喜市下早見85-5 Tel:0480-21-2659



文学作品において、作者の経験はその作品に深く影響を与えるものです。郷土にゆかりのある作家の作品からは、郷土のその当時の様子を感じることができます。

このたび県立久喜図書館では、小説、短歌、俳句、詩という分野で県東部にゆかりのある作家とその作品を紹介いたします。

今回はさいたま文学館の施設改修に伴う施設外展示と連携する資料展示となっており、文学館の資料による展示と図書館の資料による展示をそれぞれ行います。2階研修室で行っているさいたま文学館の展示もあわせて御覧ください。

- このリストは埼玉県立図書館で所蔵する展示資料のご案内です。さいたま文学館の展示資料は含みません。
- リストは作家の生年順・書名順で掲載しています。
- 「請求記号」欄の表示は次のとおりです。
 (〔BM〕の表記がない資料はすべて久喜図書館所蔵です)
 (BM)・・・熊谷図書館(配本所用資料)※配本所用資料は蔵書検索できません
 ※ご利用希望の方はカウンターへお越しください。
 「B」・・・文庫本 「D」・・・大型本 「S」・・・埼玉資料
- 掲載している資料はすべて貸出ができます。

田山 花袋 (たやま かたい) 明治4-昭和5(1872-1930)

群馬県館林市出身の小説家。自然主義文学の代表的作家として活躍した。『田舎教師』では現在の羽生市周辺が舞台となっている。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
秋の寺日記	田山花袋/著	原山喜亥	2002.9	S913/タヤ/
田舎教師が愛した景色 田山花袋の『田舎教師』から100年	さいたま文学館/編	さいたま文学館	2009.10	S902/イ/
『田舎教師』と羽生	羽生郷土史研究会/編	羽生市	1976	S910.2/イ/
『田舎教師』の周辺 上巻	宮崎利秀/著	きたむさし文化	1974	S910.2/イ/
田山花袋 羽生ゆかりの作品をめぐって	原山喜亥/編著	原山喜亥	2008.7	S902/タヤ/
田山花袋	小林一郎/著	創研社	1969.1	S910.2/タ/
田山花袋 東京の三十年(抄)/私の経験	田山花袋/著	日本図書センター	1995.11	910.268/タ/
田山花袋全集 第1巻-第16巻、新輯別巻		文泉堂書店	1973-1974	918.6/タ/
鉄道のある情景 文学が描いた埼玉の鉄道	さいたま文学館/編	さいたま文学館	2007.9	S902/テツ/
東京近郊一日の行楽 花袋が選んだ癒しの	さいたま文学館/編	さいたま文学館	2004.10	S915/サイ/
東京近郊一日の行楽	田山花袋/著	社会思想社	1991.2	B914.6/タ/
東京の三十年	田山花袋/著	岩波書店	1981.5	B914.6/ト/
文学散歩『田舎教師』	羽生市立郷土資料館/編	羽生市教育委員会	1998.3	S902/フン/
名著複刻全集近代文学館明治後期〔第11〕 田舎教師		日本近代文学館	1968.9	918.6/メ/

加藤 楸邨 (かとうしゅうそん)

明治38-平成5(1905-1993)

東京都出身の俳人。粕壁中学校(現・春日部高校)の教員時代に同僚のすすめで俳句を始め、水原秋櫻子に師事する。人間の内面を追い求める作風は「人間探求派」と呼ばれた。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
加藤楸邨初期評論集成 第1巻-第5巻	加藤楸邨／著	邑書林	1991-1992	914.6/カ/
加藤楸邨全句集	加藤楸邨／著	寒雷俳句会	2010.10	911.368/カ001/
加藤楸邨全集 第1巻-第13巻、別巻	加藤楸邨／著	講談社	1980-1982	918.6/カ/
加藤楸邨と埼玉 芹の根も棄てざりし妻と若かりき	さいたま文学館／編	さいたま文学館	2002.4	S911.3/カ/
加藤楸邨の一〇〇句を読む 俳句と生涯	石寒太／著	飯塚書店	2012.12	911.362/カ001/
かな女と楸邨 書で楽しむ俳句の世界	さいたま文学館／編	さいたま文学館	2008.10	S911.3/カナ/
近代の俳人たちと粕壁 水原秋櫻子・加藤楸邨と粕壁の俳人たち		春日部市郷土資料館	[1998]	S911.3/キン/資料館
砂丘 河畔の街と俳人加藤楸邨 第二回特別展		春日部市郷土資料館	1991.2	S911.3/サ/資料館
楸邨俳句365日	矢島渚男／編著	梅里書房	1992.4	911.36/シ/
俳人加藤楸邨と粕壁 夏季展示(第41回)	春日部市郷土資料館／編	春日部市郷土資料館	[2010]	S911.3/カ/資料館

中島 敦 (なかじまあつし)

明治42-昭和17(1909-1942)

東京都新宿区生まれの小説家。2歳から5歳までを現在の久喜市で過ごした。『斗南先生』は久喜市に住む伯父、中島端蔵がモデルとなっている。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
写真資料中島敦	田鍋幸信／編	創林社	1981.12	910.28/ナ/
世界文学のなかの中島敦	ポール・マッカーシー／著	せりか書房	2009.12	910.268/ナカ016/
中島敦	勝又浩／編著	有精堂出版	1984.7	910.2/ナ/
中島敦が見つめた世界 没後70年	さいたま文学館／編	さいたま文学館	2012.9	S902/ナカ/
中島敦研究	藤村猛／著	溪水社	1998.12	910.268/ナカ016/
中島敦全集 第1巻-第4巻、別冊	中島敦／著	文治堂書店	1959-1961	918.6/ナ/
中島敦とその家系 第4回企画展	久喜市公文書館／編	久喜市公文書館	1996.2	S910.2/ナ/
中島敦と私 中島敦生誕100年記念	久喜・中島敦の会／編	久喜・中島敦の会	2009.5	S910/ナカ/
中島敦の作品研究	浜川勝彦／著	明治書院	1976	910.28/ナ/
中島敦の「斗南先生」・実話	久喜市公文書館／編	久喜市公文書館	1999.2	S289/ナカ/
中島敦の遍歴	勝又浩／著	筑摩書房	2004.10	910.268/ナカ016/
中島敦論	渡邊一民／〔著〕	みすず書房	2005.3	910.268/ナカ016/
中島敦論 「狼疾」の方法	鷺只雄／著	有精堂出版	1990.5	910.28/ナ/
李陵	中島敦／著	文治堂書店	1980.11	D/ナ/
狼疾正伝 中島敦の文学と生涯	川村湊／著	河出書房新社	2009.6	910.268/ナカ016/

深沢 七郎 (ふかざわしちろう) 大正3-昭和62(1914-1987)

山梨県石和町生まれの小説家。『榎山節考』で中央公論新人賞、『みちのくの人形たち』で谷崎潤一郎賞を受賞。昭和40(1965)年に菖蒲町(現・久喜市)で「ラブミー農場」を開く。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
生きているのはひまつぶし 作品集	深沢七郎 / 著	光文社	2005.7	914.6/フカ 001/
極楽まくらおとし図	深沢七郎 / 著	集英社	1985.10	/フ/
庶民烈伝	深沢七郎 / 著	新潮社	1971	/F73/
榎山節考	深沢七郎 / 著	新潮社	1985.2	B/フ/
人間滅亡的人生案内	深沢七郎 / 著	河出書房新社	1971	914.6/F73/
深沢七郎回想録	森田進 / 著	森田進	2004.11	S902/フカ/
深沢七郎集 第1巻-第10巻	深沢七郎 / 著	筑摩書房	1997	918.68/フカ 001/
深沢七郎の文学 「榎山節考」ギターの調べとともに	山梨県立文学館 / 編	山梨県立文学館	2011.9	D910.268/フ か001/
盆栽老人とその周辺	深沢七郎 / 著	文芸春秋	1973	/F73/
みちのくの人形たち	深沢七郎 / 著	中央公論社	1980.12	/フ/
みちのくの人形たち(折本)	深沢七郎 / 著	夢屋書店	1979	/フ/
無妙記	深沢七郎 / 著	河出書房新社	1975	/F73/

一色 次郎 (いっしきじろう) 大正5-昭和63(1916-1988)

鹿児島県沖永良部島出身の小説家。佐佐木茂索に師事し、戦後執筆生活にはいる。昭和22(1947)年のキャスリン台風が引き起こした東京洪水を取材し、久喜市や幸手市を舞台にした「下流から下流へ」は文壇への出世作となった。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
石をして語らしむ	一色次郎 / 著	文化出版局	1977.9	914.6/イ/
運河通り	一色次郎 / 著	三一書房	1969	[BM]913/イ
カスリーン台風 昭和22年関東水没から50年 報道写真集	茨城新聞社 / [ほか]共同編集	カスリーン台風写真集刊行委員会	1997.9	S369.3/カス/
枯葉の光る場所	一色次郎 / 著	文和書房	1972	/I85/
孤雁一刀流	一色次郎 / 著	春陽堂書店	1986.6	B913.6/イツ/
昭和22年9月埼玉県水害誌	埼玉県 / 編	埼玉県	1950	S517/サ/
昭和22年9月埼玉県水害誌附録写真帳	埼玉県 / 編	埼玉県	1950	S517/サ/
青幻記	一色次郎 / 著	筑摩書房	1967	/イ/
父よ、あなたは無実だった	一色次郎 / 著	朝日新聞社	1982.10	915.9/I85/
左手の日記	一色次郎 / 著	旺文社	1975	B913.6/イ/
ふるさと文学館 第12巻 埼玉	木原直彦 / 編集	ぎょうせい	1995.5	918.6/フ/

秋谷 豊 (あきや ゆたか) 大正11-平成20(1922-2008)

鴻巣市出身の詩人。登山家としても知られる。ネオ・ロマンチズムを唱え詩誌『地球』(第三次)を創刊した。昭和23(1948)年からは浦和市(現・さいたま市)に居住しており、『辺境』『ランプの遠近』などに、埼玉を詠んだ詩が掲載されている。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
秋谷豊 地球の詩人	さいたま文学館 / 編	さいたま文学館	2011.4	S911.5/アキ/
秋谷豊詩集 新編	一色真理 / 編	土曜美術社	1989.6	911.5/ア/
埼玉の文学 その作品と風土	秋谷豊 / 編	さきたま出版会	1979.8	902/サ/
残照の武蔵野	秋谷豊 / 著	桐原書店	1981.10	S290.9/サ/
時代の明け方 詩集	秋谷豊 / 著	地球社	1994.10	SA911.5/ジ/
文学の旅	秋谷豊 / 著	吉川書房	1970.12	SA910.2/フ/
武蔵野 行田哲夫写真集	行田哲夫 / [写真]	埼玉新聞社	1986.11	748/ギ/
ランプの遠近 詩集	秋谷豊 / 著	さきたま出版会	1981.5	SA911.5/ラ/
わが山と旅	秋谷豊 / 著	恒文社	1992.4	915.6/ワ/

大西 民子 (おおにし たみこ)

大正13-平成6(1924-1994)

岩手県盛岡市生まれの歌人。昭和24(1949)年に大宮市に移り住む。日常生活を題材にした短歌を詠んだ。埼玉県教育局職員として埼玉県立図書館(旧浦和図書館)や久喜図書館等に勤務するほか、現代歌人協会理事、埼玉県歌人会副会長などを歴任し、朝日新聞埼玉版、埼玉新聞の歌壇や短歌雑誌の選者としても活躍した。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
青みさす雪のあけぼの 大西民子の歌と人	原山喜亥／編	さきたま出版会	1995.10	S911.1/ア/
石の船 大西民子歌集	大西民子／著	短歌新聞社	1975	SA911.1/イ/
印度の果実 大西民子歌集	大西民子／著	短歌新聞社	1986.6	911.16/オ/
海の記憶 大西民子歌集	大西民子／著	沖積舎	1981.7	911.1/ウ/
大西民子歌集	大西民子／著	短歌研究社	1979.7	B911.16/オ/
大西民子集		牧羊社	1986.6	911.16/オ/
大西民子書誌	原山喜亥／編	原山喜亥	2001.2	S911.1/オオ/
大西民子全歌集	大西民子／著	沖積舎	1989.12	911.1/オ/
大西民子の歌	沢口英美／著	雁書館	1992.10	S911.1/オ/
大西民子の世界 その短歌精神と作家技法	さいたま市立大宮図書館／編	さいたま市教育委員会	2003.3	911.162/オオ010/
回想の大西民子	北沢郁子／著	砂子屋書房	1997.11	911.162/オオ010/
風の曼陀羅	大西民子／著	短歌研究社	1991.11	911.16/カ/
雲の地図 大西民子歌集	大西民子／著	短歌新聞社	1975	SA911.1/ク/
現代短歌全集 第13巻	上田三四二／編	筑摩書房	1980.11	911.16/ケ/
添削教室	大西民子／著	短歌新聞社	1992.11	SA911.1/オ/
野分の章	大西民子／著	牧羊社	1978.11	SA911.1/フ/
花溢れみき	大西民子／著	短歌研究社	1971.6	911.16/O66/
評伝大西民子	有本俱子／著	短歌新聞社	2000.1	911.162/オオ010/
まぼろしは見えなかった 大西民子随筆集	大西民子／著	さいたま市教育委員会	2007.3	S914/オオ/
私の短歌入門	山本友一／編	有斐閣	1977.7	911.1/ワ/

後藤 明生 (ごとう めいせい)

昭和7-平成11(1932-1999)

朝鮮生まれの小説家。敗戦により日本に帰国し、早稲田大学在学中に『赤と黒の記憶』が「文藝」の第4回全国学生コンクールに入選した。以後『人間の病氣』『S温泉からの報告』『私的生活』『笑い地獄』で4度芥川賞候補となる。この時期居住していた草加市松原団地は、『思い川』の舞台ともなっている。

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
思い川	後藤明生／著	講談社	1975	/ゴ/
思い川	後藤明生／〔著〕	講談社	1978.5	B/ゴ/
壁の中	後藤明生／著	中央公論社	1986.3	/ゴ/
後藤明生集	後藤明生／著	河出書房新社	1972	/ゴ/
私的生活	後藤明生／著	新潮社	1969	/G72/
小説の快楽	後藤明生／著	講談社	1998.2	901.3/ゴ
しんとく問答	後藤明生／著	講談社	1995.10	913.6/ゴ
筑摩現代文学大系 96 古井由吉・黒井千次・李恢成・後藤明生集		筑摩書房	1978.6	918.6/チ/
日本近代文学との戦い 後藤明生遺稿集	後藤明生／著	柳原出版	2004.4	910.26/ゴ008/
夢かたり	後藤明生／著	中央公論社	1976.3	/ゴ/
吉野大夫	後藤明生／著	平凡社	1981.2	/ゴ/

参考文献

『埼玉現代文学事典 増補改訂版』(埼玉県高等学校国語科教育研究会 1999)
『埼玉人物事典』(埼玉県 1998)



埼玉県のマスコット「さいたまっち」